



子どもの「いのち」と女性の身体

— 沢山美果子先生をお迎えして —

第 10 回 出生をめぐる倫理研究会

出生をめぐる倫理研究会では、日本史学者の沢山美果子先生をお招きした公開研究会を開催いたします。子どもの「いのち」や女性の身体をめぐる問題について、近世の史料を参考に議論を深めていきます。

【講師】

沢山 美果子

岡山大学大学院社会文化科学研究科客員研究員
国立民族学博物館特別客員教授

主著：『出産と身体の近世』（勁草書房 1998 年）、『性と生殖の近世』（勁草書房 2005 年）、『江戸の捨て子たち』（吉川弘文館 2008 年）

【日時】

2010 年 7 月 25 日(日)
14:00-17:00

【会場】

立命館大学 衣笠キャンパス
志学館 121 教室

【テキスト】

沢山美果子, 2010, 「近世後期の「家」と女の身体・子どもの「いのち」——「いのちのジェンダー史」のために」『七隈史学』12: 3-17.

沢山美果子, 2010, 「江戸における子どもの行方」『女性歴史文化研究所紀要』18: 115-131.

ほか

- ◇参加費無料・事前申し込み不要
- ◇主催：2010 年度立命館大学大学院先端総合学術研究科公募研究会「出生をめぐる倫理研究会」
- ◇共催：立命館大学グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点、立命館大学生存学研究センター
- ◇研究会連絡先：
吉田一史美（立命館大学大学院先端総合学術研究科生命領域 3 回生）
gr013089@ed.ritsumei.ac.jp

